

第3次 名張市農業マスタープランの策定について

1. 策定の趣旨

近年、名張市においては、農業・農村における高齢化や人口減少が進み、生産力や農村活力が低下傾向にあります。一方、外部環境においては、国の平成30年産米からの米政策の見直しや環太平洋パートナーシップ協定（TPP）等による農業のグローバル化への対応も迫られています。

このような中、名張市の農業・農村の持続的な発展に向けて、めざすべき将来像を明らかにするとともに、その実現のための施策の推進を図るための総合的かつ基本的な計画として、名張市農業マスタープラン（平成10年度～平成17年度）、第2次名張市農業マスタープラン（平成18年度～平成27年度）に引き続き、新たな計画を策定するものです。

2. 計画の性格

本計画は、名張市の農業・農村の目指すべき将来像を明らかにするとともに、その実現のために取り組むべき施策を総合的かつ基本的な計画として市長が定めるもので、本市の農業・農村の活性化に関する施策の基本となります。このため、本計画の推進にあたっては、農業者、関係機関をはじめ、消費者等のさまざまな方々の参加を得ることとします。また、計画の確実な実行を図るため、可能な限り数値目標を掲げるものとします。

さらに、策定に当たっては、国が定める「食料・農業・農村基本計画」や三重県が定める「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画」の内容を踏まえ、過去の名張市農業マスタープランの成果を検証し、「名張市総合計画～理想郷プラン～」と連動する個別計画として策定するものとします。

3. 計画の期間

平成30（2018）年度～平成39（2027）年度

4. 計画の内容

名張市農業の現状と課題／名張市農業の将来像／施策の展開／地域別計画

5. 策定の手順

名張市農業マスタープラン策定委員会（15名以内、うち1名を公募とする。）を設置し、計画の基本方針、課題、施策等について検討し、計画原案を作成します。

作成にあたっては、農業者及び非農業者へのアンケート調査及び、地域懇談会を実施し、市民各層の幅広い意見を反映します。

6. 策定スケジュール

平成28年	11月	第1回策定委員会	平成29年	11月	市議会産業建設委員会協議会
	12月	アンケート調査		12月	パブリックコメント
平成29年	5月	第2回策定委員会	平成30年	1月	第5回策定委員会
	6月	地域懇談会		2月	市議会産業建設委員会協議会
	9月	第3回策定委員会		3月	計画印刷
	10月	第4回策定委員会		4月	計画配布